

～やっぱいいなあ大関～

とほほい大関

2020年9月号

Vol.24

大関まちづくり協議会・大関コミュニティセンター



星を見る会

入賞おめでとうございます

第15回坂井市花壇コンクール



大味下 (若菜会)



大味中

◆スマイル&リフレッシュ教室

大関コミュニティセンター講座

日常生活に欠かせない筋力アップを目指すスマイル&リフレッシュ教室が、お家で見られるコミセン講座として、YouTubeと坂井ケーブルテレビ行政チャンネルで動画配信されました。(現在はYouTubeのみで配信中)



たたみ2畳分のスペースがあればどこでもできる健康体操なので、気軽にご体験ください。みんなで心も体もリフレッシュしましょう。Let's challenge!!



お家に居ながら、誰でもコミセン講座を受講できます。

インターネットでコミセン講座を検索してください。



坂井市コミセン講座

◆星を見る会

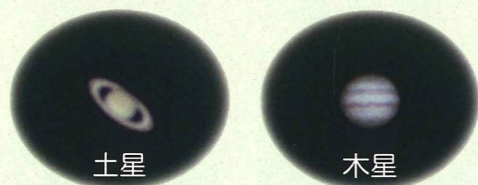
大関子ども教室

長い梅雨のあと奇跡的な天候に恵まれた8月1日(土)、大関小学校グラウンドで星を見る会を開催し、親子約60人が月や木星、土星の観察を楽しみました。

日暮れ前に、講師の伊藤センター長から星座早見盤の使い方や星の名前、星の位置等を習い、更に、グラウンドに設置された手作り望遠鏡の操作方法を教わりました。



星座早見盤で今日の星座を確認



土星

木星



昇ってきた月を手作り望遠鏡で観察

夜になると、月のクレーター、木星の縞模様そして土星の環がはっきりと見えました。最後には、宇宙で一番美しい二重星といわれる白鳥座のアルビレオを見て参加者から感嘆の声が上がりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

令和2年度 第13回大関まちづくり協議会総会

第13回大関まちづくり協議会総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、書面による協議で開催されました。部員52名に議案書を送付し、43名から回答をいただきました。すべての議案について過半数の部員から御承認をいただきましたので、報告いたします。

本年は、新型コロナウイルス感染症に最大の注意を払いながら活動をしてまいりますのでご協力をお願い申し上げます。

■新役員

- 会長 盛政 隆治
- 副会長 安久 浩一、伊藤 学寿、上中 裕子、定永 秀典
- 監事 定池 千章、坪ノ内 浩幸

■正副部会長

- わくわく交流部会 ○部会長：安久 浩一 ○副部会長：澤田 央、田中 誠
- 防災環境部会 ○部会長：伊藤 学寿 ○副部会長：伊藤 誠樹、鎌田 貴志
- いきいきフレンドリー部会 ○部会長：上中 裕子 ○副部会長：石黒 雅紀、虎尾 今日子
- 区長部会 ○部会長：定永 秀典 ○副部会長：北口 利雄、伊藤 享美

令和元年度決算及び令和2年度予算の概要

	項目	令和元年度決算	令和2年度予算	主な事業
収入	協働のまちづくり事業交付金	1,800,000	1,800,000	
	区長会運営事業交付金	629,000	629,800	
	地区協力金	362,284	399,000	※1
	負担金	18,000	0	
	雑収入	17	346	
	その他	0	0	
	繰越金	744,129	784,854	
	合計	3,553,430	3,614,000	
支出	事務局費	448,936	336,000	通信費、インクカートリッジ
	わくわく交流部会	326,735	280,000	ドッチビー大会他
	防災環境部会	375,457	413,000	地域防災訓練他
	いきいきフレンドリー部会	260,713	260,000	仮装大会、ラジオ体操他
	区長部会	492,239	1,014,000	広報誌発行、スタッフジャンパーやよい祭
	助け合いのまちづくり	169,945	420,000	クリーンアップ事業、子ども食堂ニュースポーツ大会
	敬老のつどい	430,369	470,000	景品代、会場設営費他
	その他	87,731	150,000	喫茶コーナー
	部会運営費	20,706	171,000	部会会議等
	地域活動補助	45,745	50,000	コミセン講座
	区活動補助	110,000	0	令和2年度から廃止
	予備費	0	50,000	
	合計	2,768,576	3,614,000	

※1 新型コロナウイルス感染症の拡大により地区協力金は徴収しないこととなりました。
 ※2~4 新型コロナウイルス感染症の拡大により事業が中止となりました。

◆新型コロナウイルス感染症予防講習会

大関コミュニティセンター講座
大関地区区長会協力

7月8日(水)新型コロナウイルス感染症への備えと予防のために、区長およびまち協役員を対象に講習会を開催しました。感染症に詳しい国立病院機構あわら病院の医師伊藤和広氏から、感染症対策のために大切なことを、わかりやすく教えていただきました。



参加者からは、「専門の医師から説明を聞くと納得できました。」「感染症拡大の仕組みが分かり、マスクや手洗いの重要性が理解できました。」などの声がありました。

地域においても、皆さんで声をかけあい、適切な実践を心がけましょう。

—新型コロナウイルス感染症対策で大事なこと— (当日の講演から)

○感染症対策で大事なことは

「正確な理解」と「適切な実践」です。フェイクニュースに注意をしてください。政府や自治体のホームページなどで確認しましょう。

○感染力はどのくらいですか。

麻疹は、1人が10人以上に感染させますが、新型コロナウイルスの場合は1人が2～3人で、もとの感染力はそれほど強力ではありません。

○では、なぜ感染が拡大したのでしょうか。

ある条件のもとで、感染力を高めることがわかってきました。それが、3密です。(密閉、密集、密接)

○ウィルスはどこに多いのですか。

ウィルスは、唾液の中に多いのです。そのためソーシャルディスタンスを保つことが必要になります。くしゃみ、咳で空気中に拡散します。マスクをせず対面で話しをすることで、リスクが高くなります。

○感染を防ぐことはできますか。

感染を防ぐ最後の砦は、手洗いです。人が1日に手で顔を触る回数は、50回～400回です。手が顔に触れることで目、鼻、口からウィルスに感染します。

○集会は開くことができますか。

ソーシャルディスタンス(身体的距離)を保ちマスクをすれば大丈夫です。

○社会奉仕活動で気をつけることは

外での活動は、距離を保って活動すればマスクを外しても大丈夫です。

○集会所での食事で気をつけることは

ソーシャルディスタンス(身体的距離)を保ち、相向かいにならないように工夫、静かに食事をしてください。

編集後記

7月の豪雨と8月の猛暑、そんな中での我慢の日々、本当に今年は『特別な夏』でした。いつもなら花火や祭り、家族旅行と、楽しい思い出が目白押しだったろうに、子供たちはさぞや残念だったろうと思います。

さて、そんな夏からここ大関もいつしか黄金波打つ風景へと変わり、そこかしこでコンパインのエンジン音が響き、農夫らは厳しい残暑の中、稲刈りに精を出しています。改めていつも通りの秋を迎えていることの幸せを、大人の私はしみじみと感じています。

まち協の活動も例年通りとはいきませんが、工夫しながらできる所から進めていこうと思います。今後ともよろしくお願いいたします。(T.M)

